

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチズ）にリンクしています。

平成21年3月分

4月8日更新

伊勢国分寺跡（第35次）

鈴鹿市国分町字堂跡

3月10日をもって調査が完了しました。平成21年の夏ごろからは整備工事を始める予定で、現在ののどかな風景もあと少しで見納めとなります。「発掘された鈴鹿2008」見学を兼ねて、一度立ち寄られてはいかがでしょうか。



講堂跡の史跡碑



調査終了後の伊勢国分寺跡全景（南から）

沢城跡（第3次）

鈴鹿市飯野寺家町

下層遺構も掘りあがって、3月25日をもって作業は終了いたしました。下層からは、何条もの溝、土坑などが確認されました。いずれも中世のもので、沢城築城以前の開発の様子がわかりました。



調査区東半掘りあがり（西から）



調査区西半下層遺構検出状況（北から）

須賀遺跡（第5次）

鈴鹿市矢橋三丁目287

遺跡への経路：鈴鹿税務署の北東250m

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345310&l=1363520>

調査の種類：本調査

調査原因：宅地造成

調査期間：平成21年3月17日～4月30日（予定）

調査面積：600㎡

主な遺構：土坑・溝

主な遺物：弥生土器・石器

見頃：4月中旬

現地説明会：未定です

コメント：

調査地は、鈴鹿川右岸に延びる低位段丘がちょうど沖積平野に沈み込む地点に位置します。弥生時代前期後半の溝1条、弥生時代中期の環濠とみられる大溝1条および方形周溝墓の一部とみられる溝が数条見つかっています。



大溝掘削風景



前期の溝と中期の方形周溝墓（東から）

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチズ）にリンクしています。

平成21年2月分

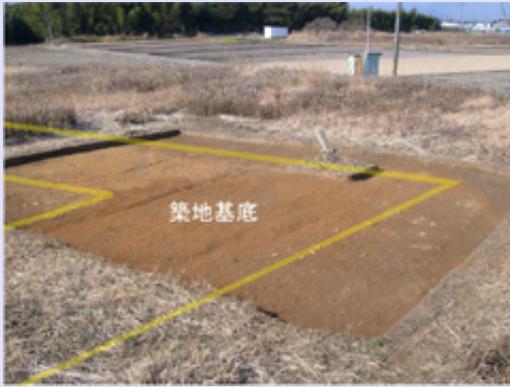
3月5日更新

伊勢国分寺跡（第35次）

鈴鹿市国分町字堂跡

国分寺の築地塀の四隅を確認する調査もほぼ終了しました。過去の史跡指定範囲は意外なほど正確なのですが、伽藍主軸や築地が約1.6度西に振れていることもあって、微妙に北西・南東の隅などが現在の指定範囲からはみ出していることが確認できました、整備に合わせて追加指定したいと考えています。

講堂や北東院・小院など主要部分については記録作業が終わりしだい埋め戻しを行っています。



築地北東隅（南から）



築地北西隅（北から）

沢城跡（第3次）

鈴鹿市飯野寺家町

遺跡への経路：飯野地区市民センター東側

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345229&l=1363409>

調査の種類：本調査

調査原因：個人住宅建築（進入路）

調査期間：平成21年2月2日～3月19日

調査面積：330㎡

主な遺構：整地層、礎石建物

主な遺物：土師器皿・鍋、常滑焼こね鉢、信楽焼、青磁、釘

見頃：3月上旬

現地説明会：実施しません。

コメント：

沢城の西端に当たる部分です。1次調査でも見られましたが、黄色い砂礫を多く含む土で土手のような区画をつくり、その間を黒色土で埋めていく造成方法がとられていて、それを繰り返しながら拡幅されています。

整地層からは建物の礎石の並びも確認されています。



礎石の並び（西から）



黄色い造成土層（北から）

一般収蔵庫（過去のニュース）

特別収蔵庫（現地説明会資料）

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチず）にリンクしています。

平成21年1月分

2月5日更新

伊勢国分寺跡（第35次）

鈴鹿市国分町字堂跡

1月24日に現地説明会を開催しましたところ朝から小雪のちらつく天候にもかかわらず80人の方に参加していただきました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル4.7MB)からどうぞ。

調査のほうは、新たに伽藍地北東・北西隅の調査区に着手したところです。3月初旬まで現地作業は続きます。



現地説明会（1）



現地説明会（2）

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)

[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチズ）にリンクしています。

平成20年12月分

1月4日更新

伊勢国分寺跡（第35次）

鈴鹿市国分町字堂跡

講堂基壇の正面（南面）の中央および東の階段の基底部分が確認されました。しかし、中央の階段も幅が1.8mしかありません。講堂基壇の立派さに反して、ちょっと寂しすぎる大きさです。どうやら、最後の基壇修復時に幅を縮めて造り直されたようです。

新たに開けられた鐘楼・経蔵を求めるためのトレンチでも調査が続けられています。

現地説明会は1月24日(土)午前10時から開催する予定です。県内で埴積みや瓦積みの基壇の発掘調査の様子を見ることが出来る機会はなかなかありませんので、ぜひこの機会にご見学ください。



柱推定位置に立つ作業員さん（東から）



鐘楼or経蔵調査区発掘中（東から）

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第26次）

鈴鹿市広瀬町

遺跡への経路：県道辺法寺加佐登停車場線から広瀬町集落方面に約300m入る。

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345319&l=1363001>

調査の種類：本調査

調査原因：学術調査（範囲確認）

調査期間：平成20年12月15日～平成20年12月26日

調査面積：55㎡

主な遺構：溝・土坑

主な遺物：瓦・山茶碗

見頃：埋め戻しました。

現地説明会：実施しません。

コメント：

伊勢国府跡の政庁北側には、溝または築地・土塁による碁盤の目状の区画があり、方格地割あるいは官衙ブロックと呼んでいます。第26次調査ではこの地割の東端辺の溝を求めるためのトレンチ調査を行いました。明確な区画溝は確認できませんでした。

なお、25次調査は12月末をもって終了しました。12月20日に現地説明会を開催したところ65人の方に参加していただきました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル1.24MB)からどうぞ。



現地説明会の様子（西から）



26次調査トレンチ（東から）

富士遺跡（第3次）

鈴鹿市国府町

調査は12月21日をもって終了しました。こってりと釉のかかった灰釉小壺の蓋なども出土しました。平安時代前期頃の国府に関連する遺跡でまちがいないのですが、いったいどんな

役割をもっていたのでしょうか。



調査区全景（西から）



調査区全景（東から）

沢城跡（第2次） 鈴鹿市飯野寺家町

遺跡への経路：飯野地区市民センター東側

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.aspx?b=345230&l=1363409>

調査の種類：本調査

調査原因：下水管敷設

調査期間：平成20年11月28日・12月17日

調査面積：約50㎡

主な遺構：堀（低湿地）

主な遺物：陶器・土師器

見 頃：埋め戻しました。

現地説明会：実施しません。

コメント：

下水管の敷設に伴い簡単な調査を行いました。沢城の本丸の西に隣接する部分については、堀として利用された自然の低い湿地が広がっていて、郭は付帯しないことが確認できました。

一般収蔵庫（過去のニュース）

特別収蔵庫（現地説明会資料）

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチず）にリンクしています。

平成20年11月分

12月1日更新

伊勢国分寺跡（第35次）

鈴鹿市国分町字堂跡

講堂基壇の調査区では正面（南面）の中央と東側に取り付けられた階段の基礎部分が姿を現し始めました。基壇を復元整備するための貴重なデータが得られそうです。

北東院の調査区ではさらに調査範囲を広げて調査を進めています。また伽藍地南東・南西の隅を確定するための新たなトレンチも開け始めました。

現地説明会は調査のめどがつく1月後半に開催する予定です。



講堂階段の基礎部分（北から）



講堂南東隅（南から）

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第25次）

鈴鹿市広瀬町

調査区を拡張したところ、調査区の北および東辺に沿って、東西溝SD315と南北溝SD312が見つかりました。溝は削られ浅いですが、比較多くの瓦や礫を含んでいて、SD310とよく似た状況です。まだまだわからない点が多いですが、これらの溝は金藪の周辺を区画するもので、金藪の一角が何らかの機能を持った院を構成していたと見られます。とすれば、金藪の高まりは、基壇の痕跡と見た方が良いのかもしれませんが。

これらの成果について、現地説明会を12月20日に開催します。現地の案内図はこちらです。



溝SD312の発掘作業（南西から）



区画溝SD315（西から）

萱町遺跡（第3次）

鈴鹿市神戸八丁目

調査は11月6日をもって終了しました。メインは幅3mのL字状に曲がる溝で、方墳の周溝と考えています。しかし、溝からの出土遺物は弥生後期・古墳時代初頭の土器片が主で、古墳時代後期の遺物は若干の須恵器・円筒埴輪片にとどまり、性格を確定する決定打が出ませんでした。その他の遺構としては溝が埋まりかけた段階に営まれた7世紀前半の土器溜まりが1か所、さらに鎌倉時代の溝1条と溝内の土坑、そして若干のピットが見つかりました。



調査区全景（西から）



周溝と中世溝（南から）

富士遺跡（第4次）

鈴鹿市国府町こうちょう

遺跡への経路：主要地方道鈴鹿環状線，三交「国府新町」バス停付近

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.aspx?b=345147&l=1363049>

調査の種類：本調査

調査原因：集合住宅の建築

調査期間：平成20年10月31日～平成20年12月下旬

調査面積：300㎡

主な遺構：溝，土坑，竪穴住居？

主な遺物：土師器・須恵器

見頃：もう少しです。

現地説明会：未定です。

コメント：

たくさんの土坑（穴）・溝・ピットが検出されています。遺構の性格やのまとまりはよくわかりませんが，それぞれの遺構から黒色土器・古めの灰釉陶器・緑釉陶器および志摩式製塩土器など一般集落ではまれな遺物が結構出土しています。平安時代前期頃の国府に関連する遺跡である可能性が高いと考えています。



遺構検出状況



土坑発掘中

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)

[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチズ）にリンクしています。

平成20年10月分

11月1日更新

伊勢国分寺跡（第35次）

鈴鹿市国分町字堂跡

史跡伊勢国分寺跡整備検討委員会の指導に基づいて、講堂基壇のトレンチを拡張するとともに、さらに詳細に調査を進めています。



講堂南面のトレンチ



伊勢国分寺跡整備検討委員会の現地視察

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第25次）

鈴鹿市広瀬町

遺跡への経路：県道辺法寺加佐登停車場線，鈴鹿・亀山市境から北に約500mの林（金藪）の東側

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.aspx?b=345322&l=1362950>

調査の種類：本調査

調査原因：学術調査

調査期間：平成20年10月7日～平成20年12月下旬

調査面積：400㎡（予定）

主な遺構：溝，土坑

主な遺物：瓦

見頃：もう少しです

現地説明会：12月20日を予定しています。

コメント：

遺跡の北端にある基壇状の高まり「金藪」の東隣接地で調査を始めました。遺構検出を進めながら、すでに一部遺構の掘削も始まっています。多くの溝が検出されていますが、なかでも瓦を含む幅の広い東西溝SD310は、金藪の高まりの北側とラインが揃っていて、何らかの関連があるものとみられます。



SD310検出状況（東から）



SD310掘削風景（南東から）

萱町遺跡（第3次） かやまちいせき

鈴鹿市神戸八丁目 かんべはっちょうめ

遺跡への経路：近鉄鈴鹿市駅の北東約240m

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345310&l=1363501>

調査の種類：本調査

調査原因：個人住宅建築

調査期間：平成20年10月15日～平成20年11月7日（予定）

調査面積：70㎡

主な遺構：古墳周溝

主な遺物：土師器・須恵器・山茶碗

見頃：すぐ埋め戻します。

現地説明会：予定はありません。

コメント：

個人住宅に伴う発掘調査です。幅3m、深さ0.5mの溝が検出されました。調査区内でL字状に曲がっていて、一辺10m以上ある方墳の周溝の一部とみられます。周溝の一角からは、須恵器甕が割られて敷き詰められたような土器溜まりが見つかりました。須恵器坏や甑、

土師器甕等も一緒に出土しています。古墳の周溝がやや埋まった後の7世紀初め頃のものですが、どのような意味があるのかは不明です。また、周溝の上面は奈良・平安時代の遺物を含む硬く締まった層で覆われていて、そのころにはすでに古墳の周溝は埋め立てられてしまっていたようです。



古墳周溝検出状況（西から）



土器溜まり（東から）

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチず）にリンクしています。

平成20年9月分
10月1日更新

伊勢国分寺跡（第35次） 鈴鹿市国分町字堂跡

これまでの調査で、国分寺の寺域の東側には築地塀で区画された北東院と小院の2区画があることが確認されています。小院の規模は東西45m、南北30mの長方形で、北東院に取りつくともみられています（パンフレット参照）。しかし、本来は45m四方の院（山城国分寺などのような塔院を想定）が改築されたものではないかという意見もあるため、両院の築地に時期差があるのか、内部にはどのような建物が建つのかなどを確認するため調査を行っています。



北東院の築地基底（南から）



鬼瓦出土

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチず）にリンクしています。

平成20年8月分
9月1日更新

伊勢国分寺跡（第35次） 鈴鹿市国分町字堂跡

講堂基壇の調査はほぼ終了しました。創建時のものと思われる台形**埴**からなる基壇化粧(外装)の基底と、改修時のものと思われる**埴**や瓦類を雑然と積み上げた基底が重なるように見つけられました。

8月18日からは新たに北東院・小院の調査に着手しました。



検出された基壇東半



博物館実習で体験発掘

石薬師東遺跡（第15次） いしやくしひがしいせき 鈴鹿市石薬師町 いしやくしちょう

遺跡への経路：三重県消防学校の東約0.4km

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345408&l=1363330>

調査の種類：本調査

調査原因：個人住宅建築に先立つ発掘調査

調査期間：平成20年8月7日～平成20年8月8日

調査面積：15㎡

主な遺構：掘立柱建物

主な遺物：なし

見頃：終了しました。

現地説明会：終了しました。

コメント：

戦前の記録によれば古墳が存在した（石薬師東10・11号墳）付近の開発であるため範囲確認調査を行いました。古墳の周溝は確認されませんでした。しかし、建築予定地の一角で掘立柱建物の柱穴が見つかりましたのでその範囲のみ拡張して発掘調査を行いました。建物は南北2間×東西2間以上の東西棟とみられ、柱間は1.5m弱と小形のもので、柱穴や周囲からも遺物が出土しませんでしたので詳しい時期は不明です。



掘立柱建物

一般収蔵庫（過去のニュース）
特別収蔵庫（現地説明会資料）
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチズ）にリンクしています。

平成20年6月分
7月1日更新

八重垣神社遺跡やえがきじんじゃいせき 鈴鹿市十宮町とみやちょう

遺跡への経路：木田橋から県道四日市鈴鹿環状線を南に300m、東に入っすぐ。

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345338&l=1363431>

調査の種類：本調査

調査原因：学校建設

調査期間：平成20年2月22日～平成20年7月3日

調査面積：約6,000㎡

主な遺構：河道・溝・方形周溝墓・土器棺墓・掘立柱建物・竪穴住居

主な遺物：弥生土器・石器・須恵器・土師器・木製品

見頃：終了しました。

現地説明会：6月28日に開催しました。

コメント：

6月19日に空中写真撮影を行い調査はほぼ終了しました。6月28日に現地説明会を開催したところ90名あまりの方に参加していただきました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル1.2MB)からどうぞ。



復元された沈線紋系土器



現地説明会のようす。

長者屋敷遺跡（伊勢国府跡24次） 鈴鹿市広瀬町

農地の土壌改良事業に先立つ緊急調査です。調査地は、伊勢国府政庁の北側で、一辺120mの溝・土塁に区画された方格地割の南西の区画（仲土居南）に当たります。

これまでに調査地の北側で学術調査が、南側で緊急調査が実施されています。その結果から、方格地割西辺の区画溝が見つかることが予想されていましたが、そのとおり2条の溝が見つかりました。その他、地割の中央をさらに区画するような南北溝も見つかっています。瓦は出土していますが、建物跡はいまのところ見つかりません。



方格地割西辺の溝(南から)

一般収蔵庫（過去のニュース）
特別収蔵庫（現地説明会資料）
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチズ）にリンクしています。

平成20年5月分
6月1日更新

八重垣神社遺跡（第6次） 十宮町

プール調査区では、南北に走る弥生時代前期の大きな溝が見つかり、大量の土器と石器類が出土しました。

この溝は、南側において、東西方向の弥生時代後期～古墳時代初頭の流路(川)に切られていることがわかりました。見つかる順序が逆ですが、この流路は上面を厚い無遺物の砂とシルト層でみごとにパックされていたことと、さらに中世の川に覆われていたために気がつくのが遅れました。なにしろ全体が鈴鹿川による堆積の上にありますから、どこを掘ればよいのか判断が大変難しい調査です。現在、無遺物の堆積層を除去した段階ですが、幅10mほどあります。下層の粘質シルト層には木片が多く含まれているので木製品の出土する可能性も高そうです。

校舎調査区のほうも検出が進み、中世の川の続きのほか、弥生時代前期・後期そして古墳時代後期の溝、弥生時代中・後期の方形周溝墓・土器棺墓などが検出されています。

また、これらの成果を見学していただく機会として現地説明会を6月28日(土)に予定しています。



弥生前期の溝（北から）



プール調査区北半（東から）



発掘された弥生後期～古墳初頭の鈴鹿川（西から）



弥生中期の土器棺墓

国分遺跡こくぶんせき

所在地：鈴鹿市国分町こくぶちょう

遺跡への経路：鈴鹿市考古博物館から北東に500m

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345433&l=1363408>

調査の種類：本調査

調査原因：個人住宅建築

調査期間：平成20年5月23日～平成20年5月29日

調査面積：80㎡

主な遺構：土坑・溝・ピット

主な遺物：土師器・瓦・陶器

見頃：終了しました。

現地説明会：開催しません。

コメント：

住宅建築に先立ち調査を行いました。調査地は、推定国分尼寺の寺域北辺に当たるところです。調査の結果、東西方向の柵列などの柱穴・溝・土坑などが見つかりましたが、残念ながら尼寺に直接結びつく遺構は見つかりませんでした。



作業風景



調査区全景（東から）

門山遺跡・門山古墳群 鈴鹿市平野町

住宅建築に先立ち調査を行いました。鈴鹿川を望む段丘の端の山林に2基の高まりが残っていて、門山古墳群として登録されていました。今回、確認のためこの高まりの立ち割り調査を行いました。埋葬主体や周溝はみられず、古墳ではないことがわかりました。隣接する平野城跡に関する土塁が、土取りによって壊され部分的に高まりとして残ったものかもしれません。ただし、あまり土を積み固めた様子も見られず、また壕も伴わないので断定には至りません。後日、追加の調査を行う予定です。



門山1号墳とされていた高まり



門山2号墳とされていた高まり

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。国土地理院地図閲覧サービス（ウォッチズ）にリンクしています。

平成20年4月分
5月1日更新

八重垣神社遺跡（第6次） 十宮町

運動場の外周に当たる擁壁埋設部分の調査はほぼ終了しました。特に、校庭の南東の隅に当たる部分からは、弥生時代前期後半～中期初頭頃の土器や石器がまとまって出土しています。ただし、土坑なのか溝（流路）なのか遺構としてはとらえどころが無いのが泣き所です。

プール建設部分の調査もかなり進んでいます。広い面積の割に見つかった遺構は少ないですが、やはり調査区の北西部から弥生時代前期の土器を大量に含む落ち込みが見つっています。

校舎予定地の表土除去作業もほぼ終了して、いよいよ本格的な調査に入ります。



溝の底から出土した弥生前期の壺底部です。



沈線紋系土器です。見た目は地味ですが研究者にとってお宝です。



土師器ヒサゴ壺が完形で出土。



表土除去の終わったプール予定地です。

沢遺跡^{さわいせき}

鈴鹿市西條町にしじょうちょう

遺跡への経路：飯野地区市民センターから東に150m

位置情報URL：<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?b=345229&l=1363415>

調査の種類：本調査

調査原因：店舗建設

調査期間：平成20年4月8日～平成20年4月14日

調査面積：20㎡

主な遺構：堀

主な遺物：土師器・山茶碗・常滑焼・木製品

見頃：終了しました。

現地説明会：開催しません。

コメント：

1月に調査を行った沢城跡の東に隣接する土地です。事前の試掘調査で遺物を含む層が確認されていたため、その層に達するような深い掘削を行う部分のみ立ち会い調査を行いました。

もっとも城跡に近い西南端の基礎穴では、堀として利用された湿地と微高地の境となる部分が見つかりました。湿地の底近くからは大量の土師器皿の破片、木片そして漆器の破片も出土しました。そのため、この穴にのみ本調査として対応しました。



包含層（黒い土の下部）右手が西（城跡）。



漆器が出ました。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)